



# 青森県弘前市 SDGs 未来都市の取組

令和6年度の取組結果と令和7年度の取組概要について

令和7年7月  
企画部企画課 総合計画・SDGs推進担当

## 1

# 「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」の概要【当初】

区別	項目	内容
SDGs未来都市	選定趣旨	経済・社会・環境の三側面の統合的取組による相乗効果、新しい価値の創出を通して、 <b>持続可能な開発を実現するポテンシャルが高い都市・地域が選定されます。</b>
	選定数	全国から <b>毎年30都市</b> 程度が選定されます。 ※令和6年度末で全国206都市が認定（東北地方は全16都市）
	予算上のメリット	デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）の申請事業数上限の枠外として、1事業の追加が可能となります。
自治体SDGsモデル事業	選定趣旨	SDGs未来都市に選定された都市のうち、多様なステークホルダーとの連携を通じ、地域における自律的好循環の形成が見込める、 <b>特に先導的な事業が選定</b> されます。
	選定数	<b>SDGs未来都市の中から10都市が選定</b> されます。
	予算上のメリット	以下の①・②が交付されます。 ①全体マネジメント・普及啓発等経費として1,500万円（定額） ②事業実施経費として1,000万円（補助率1/2）

Point

令和5年5月、県内で初めて「SDGs未来都市」、北東北で初めて「自治体SDGsモデル事業」に選定

## SDGs未来都市計画の構成

項目	概要																										
1 全体計画	<p>2030年のあるべき姿を「<b>豊かな実りを 次へと紡ぐ 活力あるりんごのまち弘前</b>」とし、SDGsの実現を通して、「日本一のりんご産地」が抱える<b>経済・社会・環境</b>の3つの側面における様々な問題の解決に取り組みます。</p> <p><b>計画期間：令和5年8月～令和8年3月</b> ※令和7年度中に第2期計画を策定予定</p>																										
2 自治体 SDGs モデル事業	<p><b>事業名</b> SDGsで未来につなぐ「日本一のりんご産地」実現プロジェクト</p>																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>三側面の課題</th><th colspan="4">ゴール、ターゲット</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td><b>経済</b></td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DX導入や省力樹形栽培導入による生産性の向上</li> <li>・消費者ニーズを捉えたりんご販売</li> <li>・海外への販路拡大</li> </ul> </td><td>             2-4            2-b         </td><td>             3-8         </td><td>             8-a         </td><td>             9-4         </td></tr> <tr> <td><b>社会</b></td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の省力化</li> <li>・新規就農者の発掘及び育成</li> <li>・後継者がいない園地の継承</li> <li>・生産者の健康寿命の延伸</li> </ul> </td><td>             2-4         </td><td>             3-8         </td><td>             4-4         </td><td>             9-4         </td></tr> <tr> <td><b>環境</b></td><td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大量に発生する剪定枝の処理</li> <li>・ジュース工場から出る搾汁残渣の処理</li> <li>・環境に優しい農業への参画</li> <li>・温暖化への対応</li> </ul> </td><td>             7-2         </td><td>             12-5         </td><td>             13-3         </td><td>             17-17         </td></tr> </tbody> </table>				三側面の課題	ゴール、ターゲット				<b>経済</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX導入や省力樹形栽培導入による生産性の向上</li> <li>・消費者ニーズを捉えたりんご販売</li> <li>・海外への販路拡大</li> </ul>	 2-4 2-b	 3-8	 8-a	 9-4	<b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の省力化</li> <li>・新規就農者の発掘及び育成</li> <li>・後継者がいない園地の継承</li> <li>・生産者の健康寿命の延伸</li> </ul>	 2-4	 3-8	 4-4	 9-4	<b>環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量に発生する剪定枝の処理</li> <li>・ジュース工場から出る搾汁残渣の処理</li> <li>・環境に優しい農業への参画</li> <li>・温暖化への対応</li> </ul>	 7-2	 12-5	 13-3	 17-17
三側面の課題	ゴール、ターゲット																										
<b>経済</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DX導入や省力樹形栽培導入による生産性の向上</li> <li>・消費者ニーズを捉えたりんご販売</li> <li>・海外への販路拡大</li> </ul>	 2-4 2-b	 3-8	 8-a	 9-4																						
<b>社会</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生産現場の省力化</li> <li>・新規就農者の発掘及び育成</li> <li>・後継者がいない園地の継承</li> <li>・生産者の健康寿命の延伸</li> </ul>	 2-4	 3-8	 4-4	 9-4																						
<b>環境</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大量に発生する剪定枝の処理</li> <li>・ジュース工場から出る搾汁残渣の処理</li> <li>・環境に優しい農業への参画</li> <li>・温暖化への対応</li> </ul>	 7-2	 12-5	 13-3	 17-17																						

## 自治体SDGsモデル事業の概要

### SDGsで未来につなぐ「日本一のりんご産地」実現プロジェクト

担い手が減り遊休農地が広がる今こそ、革新的なりんご生産に取り組み、農業生産性及び農業所得を向上させ、更には環境負荷の低減にも挑戦することで「日本一のりんご産地」そして「地球」の両方を持続可能なものとする。

#### 「りんごDX」の実装・普及展開

##### 【経済面】



- デジタル技術を活用し、高品質なりんごを安定的に生産する。
- デジタル技術を活用し、いつでも生産技術を学べる体制を構築する。

◇経済面のその他の取組  
「機能性表示食品」としての販売 など

#### Point

農業生産性と農業所得の向上を目指します。

#### 「トヨタ式カイゼン」の導入

##### 【社会面】



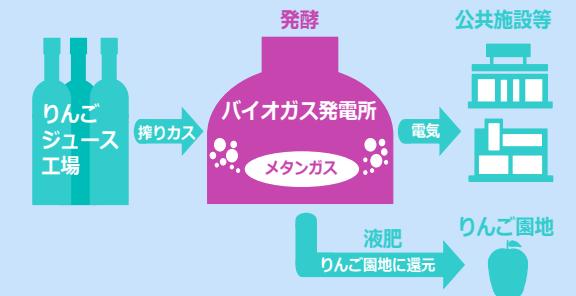
- 作業を省力化し、誰もが働きやすい環境を整備する。
- 作業効率を改善し、生産性を向上させる。

◇社会面のその他の取組  
マッチングシステムによる園地継承 など

次世代を担う意欲ある新たな担い手を育成します。

#### 搾汁残渣等を活用したバイオガス発電

##### 【環境面】



- バイオガス発電を活用し、搾汁残渣など未利用資源のエネルギー化、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組む。
- バイオガス発電で排出される液肥を活用し、循環型農業を推進する。

◇環境面のその他の取組  
「無煙炭化器」による剪定枝バイオ炭の活用など

りんご産業を起点に脱炭素社会の構築、気候変動に対応した生産技術確立を目指します。

## 4

## 自治体SDGsモデル事業のスキーム図



Point

SDGsをエンジンとした果樹産地の課題解決モデルとして、全国への横展開を目指す。

## 5

## 自治体SDGsモデル事業の3か年のスケジュール【当初】

取組名	2023年度								2024年度	2025年度
	~8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
AI・データを活用した「りんごDX」の実装・普及展開	適正着果アプリ地域運用の検証、VR剪定学習プログラムの地域展開								検証・改善	実装
「トヨタ式カイゼン」指導により女性にも選ばれる職業を目指す働き方改革の推進	事業者と契約 集出荷現場への改善指導、JA青年部や指導員等への農業塾								改善指導を農業者にも拡大、事例発表会の開催	継続実施、自立化
「無煙炭化器」導入による剪定枝バイオ炭の農地投入実証研究	無煙炭化器の導入(りんご公園、JA) 剪定枝炭化実演会								モデル園地の土壌分析 無煙炭化器導入地域展開の検証	無煙炭化器の更なる地域展開
ジュース工場から出る搾汁残渣等を活用したバイオガス発電	事業者と契約 PRイベント展示 搾汁残渣の賦存量調査、発酵試験及び液肥試験								地球温暖化防止行動指針策定	公共施設等へのプラント設置 バイオ液肥利用の実証研究

Point

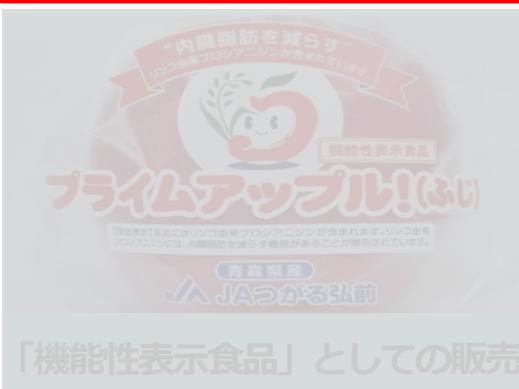
上記の取組を中心に、経済・社会・環境の3側面から様々な取組を推進します。

# 6

## 令和6年度の主な取組結果【経済面】

※国の交付金を活用した自治体SDGsモデル事業は令和5年度で終了。令和6年度もSDGs未来都市の取組として継続。

### 経済面の取組結果（一例）



### 「省力樹形栽培」の普及展開

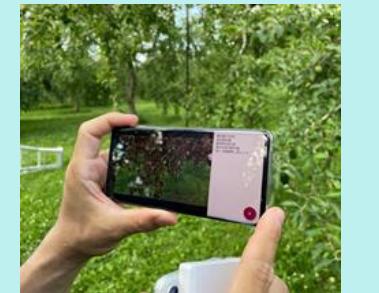


### 海外への販路拡大の強化

### 実施内容と結果

- デジタル技術を活用し、高品質なりんごを安定的に生産
  - デジタル技術を活用し、いつでも生産技術を学べる体制を構築
- ↓  
先端技術の導入による農業生産性の向上と、販路拡大による農業所得の向上を目指す。

- ・VR剪定学習支援システムは、学習体系の構築に向けて、VR剪定学習講習会を実施。  
(講習会2回、活用検討会1回)
- ・適正着果量を判断するAIシステムは、精度向上に向けた画像データの拡充等を実施。



# 三側面の指標 令和6年度実績【経済面】

## 経済面の取組



「りんごDX」の実装・普及展開



「省力樹形栽培」の普及促進



「機能性表示食品」としてのブランド展開



海外への販路拡大の強化

## 数値目標の達成状況

**高品質りんごを安定生産し、販売額を増やします。**

### 経済

行政、生産者、研究機関等との連携事業数  
機能性表示食品制度りんご生果届出数

15件 → 20件 → **21件** → 19件

2件 → 5件 → **5件** → 5件

(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

## 三側面をつなぐ相乗効果

**作業改善等に意欲的な生産者を増やします。**

### 社会

農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数

0人 → 57人 → **65人** → 60人

(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

### 環境

**農薬や肥料の使用を低減します。**

青森県特別栽培農産物認証生産者数

22者 → 21者 → **19者** → 25者

(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

## Point

先端技術の導入による農業生産性の向上と、販路拡大による農業所得の向上を目指します。

# 令和6年度の主な取組結果【社会面】

※国の交付金を活用した自治体SDGsモデル事業は令和5年度で終了。令和6年度もSDGs未来都市の取組として継続。

## 社会面の取組結果（一例）

**統合的取組**

- トヨタ式カイゼン
- ジャストインタイム  
必要なものを必要なときに必要なだけ造る・運ぶ
- 自働化  
品質は工程で造りこむ
- ムダの徹底排除
- 品質向上・生産性向上など  
原価低減

「トヨタ式カイゼン」の導入



弘前で農業始めよう！

階層別のりんご生産者の育成

JAつがる弘前や民間の選果場で、トヨタ式カイゼン手法の導入に向けた現地調査により、現場の課題及び同手法を用いた課題解決策の洗い出しを実施。

農業生産現場での生産性向上のため、営農指導員及び生産者向けの農業塾を開催。（農業塾2回）

マッチングシステムによる園地継承

りんご生産者の健康増進



## 実施内容と結果

- 作業を省力化し、誰もが働きやすい環境を整備する。
- 作業効率を改善し、生産性を向上させる。

↓

次世代を担う意欲ある新たな担い手が地域で持続的に育成される体制を構築する。

JAつがる弘前や民間の選果場で、トヨタ式カイゼン手法の導入に向けた現地調査により、現場の課題及び同手法を用いた課題解決策の洗い出しを実施。

農業生産現場での生産性向上のため、営農指導員及び生産者向けの農業塾を開催。（農業塾2回）



# 三側面の指標 令和6年度実績【社会面】

## 社会面の取組

**統合的取組**

トヨタ式カイゼン

ジャストインタイム  
必要なときに必要なだけ造る・運ぶ

ムダの徹底排除

品質向上・生産性向上など

自働化  
品質は工程で造りこむ

**「トヨタ式カイゼン」の導入**

下のマップでも掲載園地の位置が確認できます。

整理番号 6  
名前 整理番号 6  
説明 中別字向野

**階層別りんご人材育成**

事前問診 生活習慣  
当日測定 血圧

当日測定 野菜摂取量  
当日測定 体組成  
口コモ度

**マッチングシステムによる園地継承**

**りんご生産者の健康増進**

## 数値目標の達成状況

省力化や生産性を向上し、担い手を増やします。

### 社会

農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数  
園地継承円滑化システムのマッチング成立件数

0人 → 57人 → **65人** → 60人  
26件 → 125件 → **156人** → 116人  
(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

## 三側面をつなぐ相乗効果

現場改善により生産コストを削減し、収益性を向上させます。

### 経済

5年前より農業所得が向上した認定農業者の割合

59.3% → 56.0% → **60.6%** → 64.0%  
(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

### 環境

環境に優しい農業に取り組む農家を増やします。

青森県特別栽培農産物認証生産者数

22者 → 21者 → **19者** → 25者  
(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

Point

次世代を担う意欲ある新たな担い手が地域で持続的に育成される体制を構築します。

# 令和6年度の主な取組結果【環境面】

※国の交付金を活用した自治体SDGsモデル事業は令和5年度で終了。令和6年度もSDGs未来都市の取組として継続。

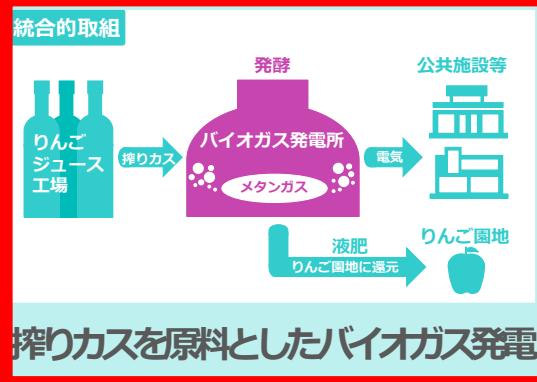
## 環境面の取組結果（一例）



「無煙炭化器」の導入



温暖化に対応した生産技術の研究



剪定枝を原料とした商品開発

## 実施内容と結果

- 搾汁残渣など未利用資源のエネルギー化、CO<sub>2</sub>排出の削減に取り組む。
- バイオガス発電で排出される液肥を活用し、循環型農業を推進する。

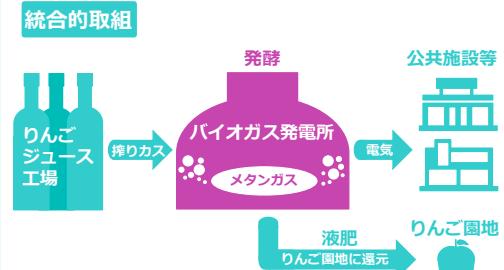
↓  
りんご産業を起点とした脱炭素社会の構築と、気候変動に対応した生産技術の確立を目指す。

・令和5年度に、りんご搾汁残渣等のエネルギー化について調査する「搾汁残渣等エネルギー化システム構築事業」を実施。その調査結果では、給食残渣等の食品残渣と混合することで成分がメタン発酵に適した比率となり、原料として十分に活用できる可能性が得られた一方、採算性や残渣の安定確保など、事業化に向けては、多くの課題が残されていることが判明したことから、引き続き、調査・研究を続けていく。

## 環境面の取組



「無煙炭化器」の導入



搾汁残渣等を活用したバイオガス発電

温暖化に対応した生産技術の研究  
(資料：農林水産省「地球温暖化影響調査レポート」)

剪定枝を原料とした商品開発

## 数値目標の達成状況

バイオガス発電等の導入を進め 環境負荷を低減します。

## 環境

無煙炭化器の活用数

バイオガス発電導入に向けた地公体実行計画策定

0件 → 17件 → **34件** → 18件0件 → 0件(未策定) → **0件** → 1件

(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

## 三側面をつなぐ相乗効果

官民連携で環境負荷の低減を進めます。

## 経済

行政、生産者、研究機関等との連携事業数

15件 → 20件 → **21件** → 19件

(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

作業改善に取り組む生産者を増やします。

## 社会

農業塾に参加し作業改善に取り組む生産者数

0人 → 57人 → **65人** → 60人

(R5.2) (R5年度) (R6年度実績) (目標値)

## Point

りんご産業を起点とした脱炭素社会の構築と気候変動に対応した生産技術の確立を目指します。

## 令和6年度の主な取組結果【SDGs普及啓発に向けた情報発信など】

対象	主な取組の内容	担当
市民、 民間事 業者等	地元アイドルの楽曲を「りんごのまち弘前SDGs応援ソング」に認定し、小・中学校等でのSDGs特別授業をはじめ、SDGs関連事業での情報発信を強化しました。 <b>SDGs特別授業は対象校を拡大し、成果発表会で各校の事例発表を行いました。</b>	企画課
	<b>高校生がまちに出て、身近なまちの問題点とSDGsとの関連について考察する「高校生SDGs講座」</b> を実施し、楽しみながらSDGsの理解を深めました。	企画課
	<b>民間事業者等が実践するSDGsの取組</b> について、 <b>成果発表会で事例発表</b> し、訪れた市民や民間事業者への普及啓発を行いました。このほか、庁内窓口のモニターや市民ギャラリーでの展示などを通じてPRしました。	企画課
	りんご産業に関連したSDGsに取組む市内事業者3者と連携し <b>「弘前市SDGs教育旅行プログラム」を造成</b> し、 <b>中学校向けモニターツアー</b> を実施しました。	企画課
	市内で導入された電気バス2台に、 <b>電気バスであることが見た目で分かりやすいデザインのラッピング</b> を施したほか、 <b>車内には、りんごの搾汁残渣を配合した繊維で制作した座席シートカバーを設置</b> し、民間事業者との協働により、 <b>SDGs・ゼロカーボンシティの取組</b> を市民や観光客にPRしました。	地域交通課 環境課
職員	<b>総合計画の評価作業に、SDGsの視点を取り入れました。</b>	企画課
	総合計画担当者及び希望者への研修を実施しました。総合計画担当者は <b>応用編の研修</b> を受講し、 <b>SDGsの考え方を総合計画の各施策に積極的に反映</b> しました。	企画課 (人事課)



「りんごのまち弘前 SDGs 応援ソング」の認定



SDGs 未来へプログラム



高校生 SDGs 講座



SDGs 教育旅行プログラム モニターツアー



電気バス車体ラッピング



りんご残渣を活用した電気バス用シートカバー

## 令和7年度の主な取組【新規事業】

### ゼロカーボンシティ推進事業（環境課）

➡ 2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、**おすすめのエコ生活をアドバイスする環境省推奨の「うちエコ診断」の利用促進、既存住宅の省エネにつながる断熱改修支援や置き配ボックス普及促進事業などを実施します。**

また、ゼロカーボンシティひろさき推進協議会を設立し、事業者、各種団体と連携し様々な角度から意見を出し合い取組を充実させていきます。



#### ■既存住宅断熱改修事業費補助金

- ・既存住宅の断熱改修を実施した市民に対し、市が事業費の一部を補助し、既存住宅の断熱化による省エネを促進

#### ■置き配ボックス普及促進事業

- ・宅配便の再配達によるCO<sub>2</sub>排出を削減するため、不在でも荷物を受け取れる置き配ボックス（簡易型）を市民へ配付

#### ■「うちエコ診断」推進キャンペーン

- ・環境省が推奨する「うちエコ診断」を実施し、市のアンケートに回答した市民を対象に、抽選で商品券が当たるキャンペーンを実施

### Point

令和5年度からの継続事業に加え、**脱炭素社会の実現に資する取組など新たな事業も展開します。**

## 令和7年度の主な取組内容【SDGs普及啓発に向けた情報発信など】

対象	主な取組の内容	担当
市民、民間事業者等	りんごのまち弘前SDGs応援ソング「リンゴのうた」のCD・譜面等を、音楽の時間はじめ、SDGsやりんごの学習、給食時の放送など、様々な場面でご利用いただくよう、 <b>市内認定こども園・幼稚園・保育所（全92園）へ配布</b> します。	企画課
	市内小・中学校等で、 <b>地元アイドル等を特別講師</b> に、 <b>SDGsや日本一のりんご産地の持続化について学ぶ特別授業</b> 「SDGs未来ヘプログラム」を実施します。	企画課
	高校生・大学生を対象に、 <b>SDGsの理解を深めるとともに、次期総合計画策定に向けた事業提案</b> を行うワークショップを実施します。	企画課
	<b>民間事業者等が実践するSDGsの取組</b> について、 <b>成果発表会で事例発表</b> し、訪れた市民や民間事業者への普及啓発を行います。	企画課
	SDGs教育旅行プログラムを中学生が体験し、 <b>学んだことから新聞記事を作成・実際の紙面（陸奥新報）に掲載</b> する特別企画を実施します。	企画課
職員	<b>SDGsの視点を取り入れた総合計画の評価作業</b> を実施します。	企画課
	新任課長補佐級職員を対象に、SDGsの施策反映について学ぶ研修を実施し、 <b>SDGsの考え方を総合計画の各施策に積極的に反映</b> します。	企画課 (人事課)

Point

企画部・農林部・市民生活部だけでなく、**全庁でSDGsを推進**します。

## (参考) SDGsの認知度について【弘前市民意識アンケート結果】

今年度に実施した「弘前市民意識アンケート」では、「SDGsという言葉を知ってる」市民の割合が82.3%と、令和5年度の76.8%から5.5ポイント上昇し、8割を超える市民に認知されていることがわかりました。※無回答者を除く

令和7年度 弘前市市民意識アンケート集計結果報告書（速報）より

上段：回答数 下段：回答比率	年度	言葉も内容も 知っており、 実際に取り組 んでいる	言葉も内容も 知っている が、実際に取 り組んではい ない	言葉は知っ ているが、内 容はよく知ら ない	まったく知ら ない	合計
「SDGs」という言葉 を知っていますか	R7	411人 24.0%	561人 32.7%	438人 25.6%	304人 17.7%	1,714人 100%
	R6	439人 23.8%	600人 32.5%	495人 26.8%	312人 16.9%	1,846人 100%
	R5	232人 12.6%	670人 36.2%	518人 28.0%	428人 23.2%	1,848人 100%

「SDGsという言葉を知っている」は82.3% (R7年度)

「SDGsという言葉を知っている」は76.8% (R5年度)



弘前市は、2023(令和5)年に「SDGs未来都市」に選定され、「日本一のりんご産地」を次の世代に託すため、SDGsの視点から様々な取組に挑戦しています。



### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



弘前市の取り組み  
詳細は[こちらから](#)



りんごのまち弘前SDGs応援ソング

# リンゴのうた

弘前では、  
見る所でりんごの木々が  
半日く暮を組んでるよう見えます。  
その木々のよう、「」  
私たちもみんな仲良く、  
互いを囲む合意感えました。  
そして入一人がりんごのようだ  
そんな心で歌詞といる木にじょじょになれたなら、  
ひとつ争いは過ぎていて。  
やよいよまちが開かれ,  
そうじつた風景を運びたいと考え、作詞しました。

「リンゴのまちから 夢よ届け(愛を乗せて)」  
「まんまる真っ赤な リンゴのうた」  
「こんな広い世界でなぜひとはぶつかる?互いにちゃんと向むかう」  
「地球という水に 流らはみんななっている」  
「青い空の下 彼らは繋がっている」

作詞・作曲:多田慎也

QRコード

「リンゴのうた」はこちらからお聴きいただけます。

RINGO MUSIC

SDGs未来都市  
ひろさき

弘前市  
Hirosaki City